

公益社団法人日本産科婦人科学会女性ヘルスケア委員会

平成 29 年度 女性のヘルスケアアドバイザー養成プログラム

受講者の皆様へ

プログラムの目的

本プログラムは、「産婦人科＝妊娠した人が行くところ」というイメージを払拭し、産婦人科の敷居を下げ、女性のヘルスケアのフロントラインに立てる産婦人科医を養成することを目的としています。

【到達目標】

- 女性のヘルスケアニーズの入り口である思春期～20 代の若年女性の受診ニーズに幅広く対応できる
- 生涯を通じた女性の包括的なヘルスケアを実践できる
- 学校や企業での健康教育など積極的に啓発活動を展開できる

受講に当たっての注意

- ・ 録画録音はご遠慮ください。（撮影許可を頂いている講義については、収録動画を後日配信または送付いたします。）
- ・ 第 5 回研修会のみ、昼食をとりながらワークショップを行います。それ以外は各自で昼食をお取りください。研修室内での飲食も可能です。
- ・ 講義の評価のため Web による受講者アンケートを実施いたします。アンケートへの回答は匿名化して集計され、確認試験の合否等には反映されません。ご協力をお願いいたします。
- ・ 講義に関して質疑応答の時間が取れません。Web アンケートにご質問の入力欄がございますので、ご質問がある場合は受講の 1 週間後までにご入力ください。後日まとめて講師の先生から回答いただき、皆様にフィードバックいたします。（ただし、質問件数が多い場合は、すべての質問に回答頂けない場合があることを御承知おきください。）

確認試験について

- ・ ワークショップと第 5 回の上村講師・北村講師の講義以外は、Web での確認試験を実施致します。e 医学会の個人ページにログインし、受講後 1 週間でご回答いただくようお願いいたします。
- ・ 問題数は 5 問（一部 10 問）で、得点率 60%に満たない場合は不合格とします。不合格の場合は、後日収録動画で再研修の上、再試験を受験することができます。詳細は対象の方に個別に通知いたします。
- ・ 不合格の場合は修了を認定できないことをご了承ください。

- ・ 遅刻・早退・欠席により講義が受けられなかった場合は、後日収録動画で研修の上、e 医学会の個人ページで確認試験にご回答ください。回答の期限は後日ご連絡いたします。~~なお、収録動画受講の場合、確認試験は1回のみとさせていただきます。再試験はございません。~~
- ・ **確認試験は合格できるまで再受験が可能です。対象者には、個別に通知いたします。**

遅刻・早退について

- ・ 講義開始から 30 分までの遅刻を認め、それ以降の受講および確認試験合格をもって受講修了と認めます。
- ・ 確認試験に自信がない場合、30 分以上の遅刻の場合、早退の場合は、後日収録動画で受講し、確認試験を受けることができます。この場合は、当日受付で遅刻早退の申請書を記入し提出してください。（申請書提出またはメールでの連絡がない場合は確認試験の案内を送付できませんのでご注意ください。）

欠席の取扱い

- ・ 欠席は 12 コマまで可能とします。
- ・ 欠席される場合には事前にメールで、受付番号、氏名、欠席する日、欠席する講義 を記入し、事務局 whap2017@jsog.or.jp までにご連絡ください。
- ・ 1 コマだけなどの部分的な欠席の場合も、可能な限り事前連絡をお願いします。
- ・ 当日やむを得ず緊急の事由で欠席された場合は、可能な限り速やかにメールでの連絡をお願いします。
- ・ 欠席された場合、後日収録動画で受講し、確認試験を受けることができます。動画受講による確認試験は、1 回のみとさせていただきます。再試験はございません。
- ・ 第 5 回研修会にはワークショップがございますので、極力ご出席ください。
- ・ 育児・介護や病気療養等やむを得ない事情の場合、委員会の判断で 12 コマを超えての動画受講を承認する場合があります。事務局までご相談ください。

日本専門医機構認定講習単位について

- ・ 本年度の女性ヘルスケアアドバイザー養成プログラムは、日本専門医機構の認定講習といたしました。
【参加単位】本プログラムは全ての日程で1集会の扱いとし、学術集会参加単位は 3 単位とします。
【受講単位】以下の 8 講義について、1 講義につき産婦人科領域講習単位を1単位付与し、8 講義を全て受講すると合計 8 単位取得できます。（数字はカリキュラムの番号）
 - ②ホルモン療法と VTE/ATE の管理(岡野講師)
 - ④思春期の問題行動(松本講師)

- ⑥原発性無月経・思春期の月経異常とその治療(甲村講師)
 - ⑧女性に多い他科疾患(プレコンセプションチェック)①(村島講師)
 - ⑩性暴力・性虐待への対応(加藤講師)
 - ⑬女性のメンタルヘルス(加茂講師)
 - ⑮更年期障害・HRT とトータルヘルスケア(高松講師)
 - ⑯ロコモティブシンドローム/フレイル(大森講師)
- ・ 当日、e 医学会カードをご持参の上、会場で e 医学会カードをご提示ください。講義開始前に、e 医学会カードのバーコードを読み取らせていただきます。
 - ・ 講義開始時間から 10 分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、機構単位は付与されません。
 - ・ 該当する講義を欠席された場合、単位は付与されません。ご了承ください。
 - ・ これとは別に、学会単位 10 点(参加単位)を付与します。

修了証について

- ・ すべての確認試験に合格された方には、修了証をお渡しいたします。お渡しの時期はすべての方の再試験受験後になりますので、来年 6 月以降になる予定です。
- ・ 本プログラムを修了された方のお名前を、日産婦ホームページで公開します。(希望者のみ)

会場について

AP 東京八重洲通り 「KLM」会議室 (11F)

(フロアが変更となる場合もございます)

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号 KPP 八重洲ビル

TEL : 03-6228-8109

(「東京駅」八重洲中央口徒歩 6 分、地下鉄「京橋駅」「宝町駅」徒歩約 4 分)

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-yaesu/ya-base/>

AP 東京八重洲通りのアクセスマップ・周辺情報

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-yaesu/ya-base/>



⇒八重洲地下街からの最寄出口は『24番』です

所在地・電話番号

〒104-0031

東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号

KPP 八重洲ビル 7・11・12・13 階

Tel : 03-6228-8109

Fax : 03-6228-9109

交通アクセス

JR 各線をご利用の場合

「東京駅」八重洲中央口より徒歩 6 分

東京メトロ銀座線をご利用の場合

「日本橋駅」徒歩約 5 分

「京橋駅」徒歩約 4 分

都営浅草線をご利用の場合

「宝町駅」徒歩約 4 分



↑ 東京駅方面から見た施設外観



↑ 施設玄関と看板

平成29年度日産婦女性ヘルスケア委員会「女性のヘルスケアアドバイザー養成プログラム」カリキュラム
 (会場 AP東京八重洲通り(東京都中央区京橋1丁目10番7号))

	テーマ	講師	時間(分)	
第1回 2017年7月2日	オリエンテーション		20	9:30-9:50
	① ウイメンズ・ヘルスのニーズと日本の現状	対馬ルリ子	80	9:50-11:10
	② ホルモン療法とVTE/ATEの管理	岡野浩哉	80	11:20-12:40
	③ 性同一性障害の診断と治療	中塚幹也	70	13:50-15:00
第2回 8月20日	④ 思春期の問題行動(リストカット・依存症を中心に)	松本俊彦	80	15:10-16:30
	⑤ 女性と皮膚	平田雅子	60	9:30-10:30
	⑥ 原発性無月経・思春期の月経異常とその治療	甲村弘子	70	10:30-11:40
	⑦ リプロダクティブ・ヘルス/ライツと安全な中絶	木村 正	60	12:50-13:50
	⑧ 女性に多い他科疾患(プレコンセプションチェック)①	村島温子	75	14:00-15:15
	⑨ 女性に多い他科疾患(プレコンセプションチェック)②	荒田尚子	75	15:25-16:40
	⑩ 虐待(面前DV含)の影響と世代間連鎖	友田明美	60	9:30-10:30
第3回 10月29日	⑪ 性暴力・性虐待への対応	加藤治子	80	10:40-12:00
	⑫ ジェンダー/ドメスティック・バイオレンスとその対応	種部恭子	60	13:10-14:10
	⑬ 女性のメンタルヘルス	加茂登志子	70	14:20-15:30
	⑭ 摂食障害	鈴木真理	60	15:40-16:40
	⑮ 更年期障害・HRTとトータルヘルスケア	高松 潔	70	9:30-10:40
第4回 12月17日	⑯ ロコモティブシンドローム・フレイル	大森 豪	60	10:50-11:50
	⑰ 女性の排尿障害	中村綾子	60	13:00-14:00
	⑱ 性機能障害	二宮典子	60	14:10-15:10
	⑲ 加齢と妊孕性	竹内 巧	60	15:20-16:20
	⑳ 女性のキャリア形成・維持とダイバーシティ	久保光司	60	9:30-10:30
第5回 2018年2月18日	㉑ 性教育・健康教育で押える重要なポイント	上村茂仁	70	10:40-11:50
	㉒ ワークショップ「健康教育」①+情報交換(軽食)	蓮尾 豊	80	12:00-13:20
	㉓ 女性の健康向上を阻む社会的圧力	北村邦夫	70	13:30-14:40
	㉔ ワークショップ「健康教育」②	蓮尾 豊	90	14:50-16:20
	クロージング		10	16:20-16:30